



卓 話



クラブ協議会

国際奉仕・米山奨学生委員会 秋葉賢一委員長

米山奨学生委員会は、前年度委員長の溝呂木副委員長、小野会員、カイトル会員の4名で運営していきます。本日は、4月14日に椿山荘で行われた地区協議会の概要を簡単に紹介しながら話をします。

日本独自の米山奨学事業は、東南アジアの優秀な学生に奨学金を支給し、親日的になってもらうということで、寄附によって運営されていますが、厳しい運営状況にあります。地区の事業運営には約1億円が必要とされていますが、現状は7千万円程度しか集まらず、千人受入を800人に減らしたということです。

寄附には、普通寄付金と特別寄付金があり、当RCは普通寄付金のみを寄附していますが、他クラブと違って特別寄付金はゼロですから、この点を今年度は改善したいと思います。

また、地区協議会では、米山奨学事業の理解促進、厳しい運営資金の改善のための寄附の増進、交流の輪を広げるための奨学生との交流、奨学生の心のケアを図るための世話クラブの世話が活動目標としてあげられています。

そこで、当委員会では、当RC内の米山奨学事業の理解促進を図る、特別寄付金に浄財を集める、9月末夜間例会で奨学生との交流の場を設ける、世話クラブによる奨学生への心のケア活動をする、ことを目標に活動を進めていきます。

国際奉仕・青少年交換委員会 井上国治委員長

青少年交換委員会は、昨年度委員長の向山副委員長、鯉江カウンセラー、川瀬会員、西浦会員、藤原会員、武田会員、渡邊会員のメンバーで運営していきます。

ドイツへ派遣する青野路子さんは、8月14日に成田からフランクフルト経由でテュセルドルフへ向かいます。

ドイツのドロシーさん(16歳)の受入は、8月15日から25日かになりますが、このホストファミリーは、米山会長、青野路子さんの両親、岩野会員が確定し、第3期は鯉江会員と川瀬会員にお願いしてあります。

受け入れる交換学生とは、委員会としてコミュニケー

ションを十分取っていきますが、皆様の協力がないとやっていけません。ドロシーさんは、おそらく日本語はあまり勉強していないでしょうし、英語を話せるかどうかわかりませんが、できるだけ例会には来てもらいますので、皆さんのほうで声をかけていただき、ゆっくりとした日本語で話をしてください。

皆様方のご協力をお願いします。

クラブ奉仕・会員増強委員会 辻明信委員長

会員増強委員会は、前年度委員長の岩野副委員長、西浦会員、平井会員、村瀬会員の5名で運営します。

新年度初例会に廣本会員の入会があったので、幸先がいいなと思ったのですが、昨年度末に伊東正好会員が退会されましたので、64名でのスタートになりました。

今年度は、70名が当RC運営上必要数ですので、6名増やす努力をしていかなければならないと覚悟を決めています。RI会長・米山会長は、1名増でいいという優しい方針を出されていますが、会員こそがロータリーのもっとも重要な資源であり、健全で活力溢れるクラブを築き維持することを可能にするのですから、四半期に1名会員増にするということで、活動したいと思います。皆様のご協力をお願いします。

クラブ奉仕・親睦委員会 坂本武司委員長

親睦委員会は、藤原副委員長、秋葉賢会員、浅羽会員、天野会員、岩崎会員、岩本会員、牛尾会員、太田会員、酒井会員、田中会員、武田会員、前年度委員長の横山会員、廣本会員の14名で運営します。

オリエンテーションのときから、ロータリーは超私の奉仕というか、奉仕と親睦であるといわれてきました。親睦とは、楽しく親しくやればいいということではなく、もっと深いところで交友を広めることであり、その交友は、好き同士ではなく、ロータリーの友として公平に交わっていくものという考えのもと、一部の会員が負担するのではなく、みんなで力を合わせて協力し合って楽しく運営をしていきたいと思っています。

昨年度のクラブ四谷委員会や炉辺での親睦活動に関する意見は、今年度活動に取り入れて行きます。特に親睦四大大行事については、従来どおりにやってくるのがよいかどうかを委員会で話し合っ行って行きますが、皆様が楽しみにされてもいますので、ぜひ盛り上げるようにしたいと思います。

7月21日の納涼家族会については、現在20席空いていますので、家族に拘らず、会社の方たちも参加していただければと思います。秋の移動例会については、毎回20名前後のやや少ない参加では淋しいので、今回は四谷で例会ということで、新宿末広の寄席を企画しました。

忘年家族会は、12月8日に明治記念館で行います。春の散策については、魚河岸見学や花見などを検討しています。

いずれも、会員の皆さんが喜び、楽しい、出席してよかったというような親睦を運営したいと思いますので、ご協力をお願いします。



クラブ運営 米山会長

今年度のR1会長、そして地区ガバナーの方針は、ご承知のとおり、「超私の奉仕」です。なんら飾ることなく、この方針に沿って今年度1年間を運営していきたいと思ひます。

どうしたら魅力あるクラブをつくれるかを率直に考えますと、やはり四つのテストに書かれていることをしっかりと自分の頭の中に入れてやっっていくことしかないと思ひます。

幸い昨年度にクラブ四谷委員会を通じて、いろいろな問題の交通整理がされていり、今年度活動上の基本として出ている。その意味で、昨年度の路線をしっかりと引き継いでいく時期もあります。特に、予算面でもいろいろと指針を出していただきましたので、今年度はメリハリをつけたお金の使い方したいと考えています。

またドイツから派遣されてくるドロシーさんが心の残る日本での生活ができるように、皆様の温かいご協力をよろしくお願ひします。